



全日本団体対抗テクノクラスウインドサーフィン選手権2022

期 日：2022年10月29日（土）、30日（日）

開催場所：大阪北港マリーナ

WEB: <https://www.facebook.com/events/537413697464865/>

エントリー: <http://www.club-sports.net/entry/reserve/flow/id/388>

主 催

一般社団法人大阪海洋教育スポーツ振興協会
(総合型地域スポーツクラブ大阪北港ちょっとヨットビーチクラブ)

共同主催

一般社団法人 日本ウインドサーフィン協会
一般社団法人 日本海洋教育スポーツ振興協会
(総合型地域スポーツクラブ江ノ島ちょっとヨットビーチクラブ)

後 援

一般社団法人セーラビリティ大阪

協 力

大阪北港マリーナ 有限会社アクアティック

助 成

独立行政法人日本スポーツ振興センター

協 賛

MagicMarine Japan

< レース公示 >

1. 適用規則

- (1) セーリング競技規則2021-2024（以下RRS）付則B。ただし、下記で修正・追加したものは除く。
- (2) テクノ293クラスルール。

2. 広告

主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求することがある。

3. 競技種目およびクラス・参加資格

各チーム以下記載の条件のすべてを満たすものもしくは、大会実行委員会が推薦する選手を含むチームとする。

- (1) 本年度日本セーリング連盟、日本ウインドサーフィン協会、全日本学生ボードセーリング連盟のいずれかの会員であること。
- (2) 各チームには本年度のテクノクラス全日本選手権もしくは全日本学生ボードセーリング選手権の各予選大会に於いて、参加資格を取得した選手が1名以上含まれること。**ただし新入生チームについてはこの限りではない。**

***新入生の定義** 大学入学と同時にウインドサーフィン競技をはじめた新一年生ならびに学連登録1年目の選手

- (3) 各チームは3名以下の選手で構成される下記のチームであること。
 - A) 同一大学、所属団体で何チームでもエントリー可能とする。ただし、各選手が所属するチーム名を明確にしなければならず、同一選手が他チームの選手として競技することや、大会中に所属選手を変更することはできない。
 - B) 他大学、他団体との混合チームもチーム名を定めてエントリー可能である。

4. 参加料等及び参加申し込み方法等

- (1) 大会エントリー費用 1チーム 5,000円

*申込期限以降のエントリーの場合はレイトエントリーフィー5,000円が別に必要です。

主催団体指定のWEBエントリーシートからエントリーすることとする。

<参加申込み先・問い合わせ先>

一般社団法人大阪海洋教育スポーツ振興協会

電話 06-4400-5295

WEB: <https://www.facebook.com/events/537413697464865/>

エントリー: <http://www.club-sports.net/entry/reserve/flow/id/388>

(2) 参加料・チャーター料の支払い方法

支払い方法については期日までに指定の支払い方法で支払うこととする。

(3) 申込期限

10月21日(金)までにエントリーフォームからエントリーし、**10月27日(木) 15:00**までに指定の方法で支払いを完了するものとする。

5. レーススケジュール

(1) 日程

10月29日(土)

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 9:00~10:00 | 受付、インスペクション |
| 10:00 | 開会式・艇長会議 |
| 10:55 | 第1レースの予告信号時刻
レース数:1日最大4レース。 |

10月30日(日)

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 9:30 | その日の最初のレースの予告信号時刻
レース数:1日最大4レース。 |
| 17:00 | 閉会式 |

- (2) 最終日のレースの予告信号は15:30以降に発せられることはない。

6. エキップメント

- (1) 事前計測は行わないが、大会期間中計測を実施する場合がある。
- (2) 艇体、セール等のエキップメント類は、認可製造者によって張りつけられた固有のシリアル番号を、判読できる状態にしておかなければならない。大会期間中にピックアップチェックを実施する場合がある。
- (3) セールナンバー
 - A) 参加選手はセールナンバーをRRS付則G・付則B9およびセールナンバーについてのルールと解釈例について <http://www.jw-a.org/pdf/sail_rule.pdf> のとおり表記するものとし、これに違反した選手は本大会に参加することができない。大会参加後に表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースをDNCとされる。
 - B) ナンバーが他の選手と重複した場合は、JWA登録ナンバーが優先される。

7. 帆走指示書

帆走指示書は大会当日の受付時に入手できる。

8. レースエリア

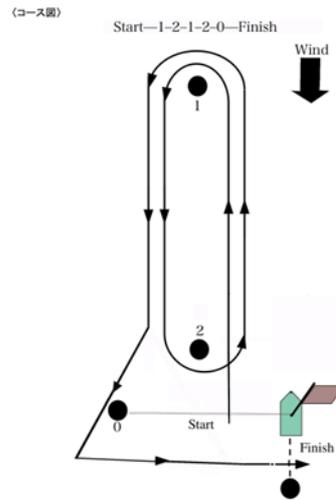
レースエリアは以下の大阪北港セーリングゾーン内とする。



9. コース

- (1) 風上/風下コースを予定するが（見取り図参照）、最終的にはレース当日の海面状況により決定される。

(例) スタートーマーク1ーマーク2ーマーク1ーマーク0ーフィニッシュ



10. レース回数

- (1) 1日最大4レースとし、2日間で最大6レースを行う。
(2) 最低1レースをもって大会成立とする。
(3)

11. 得点

それぞれの得点方式は、次のとおりとする。

A) チーム対抗戦

- (ア) 参加艇数は、「3名が登録されたチームの数×3」に加え、3名以下の選手が登録されたチームの選手の数の合計」とする。この項はRSS付則A4を変更している。
(イ) 各レースの得点は、3選手のレース得点の合計とする。3名以下の選手の数で参加するチームの各レースの得点の合計は、3選手に満たない選手をDNCとして記録し得点の合計に加える。
(ウ) 4レース未満しか完了しなかった場合、各チームのシリーズ得点は、レース得点の合計とする。この項はRSS付則A2を変更している。
(エ) 4レース以上が完了した場合、各チームのシリーズ得点は、最も悪いレース得点を除外したレース得点の合計とする。

B) 個人成績

- (ア) 4レース未満しか完了しなかった場合、選手のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。この項はRSS付則A2を変更している。
(イ) 4レース以上が完了した場合、選手のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

12. 賞

次のとおり賞を授与する。

A) チーム対抗戦

- (ア) 1位のチームに優勝トロフィーを授与する。
(イ) 上位3チーム各選手にメダルを授与する。
(ウ) 男子選手が1名以下所属するチームの1位のチームに女子優勝のトロフィーを授与する。

B) 個人成績

- (ア) 総合成績1位の選手に優勝トロフィーを授与する。
(イ) 女子選手1位の選手に女子優勝のトロフィーを授与する。
(ウ) 新人選手1位の選手に新人優勝のトロフィーを授与する。

13. 副賞

次のとおり賞を授与する。

A) チーム対抗戦

(ア) 1位のチームに副賞としてテクノ293コンプリートセットもしくは同等品を授与する。

(イ) 2位のチームに副賞としてテクノ293リグセットもしくは同等品を授与する。

(ウ) 3位のチームに副賞としてテクノ293

460 Mast、Boom、Mastbase、Fin46cm、Strapのセットもしくは同等品を授与する。

(エ) 【女子チーム優勝】女子選手が2名以上所属するチームの1位に女子チーム優勝の副賞として全選手にマジックマリン商品券各10,000円を授与する。

(オ) 【社会人チーム優勝】社会人の選手が3名所属するチームの1位に社会人優勝の副賞としてぐるナビギフト券3万円分もしくは同等品を授与する。

尚、本レースにおける社会人とは、学連に所属していない選手のことを指す。

<http://mobile.gnavi.co.jp/giftcard/>

B) 個人成績

(ア) 総合成績1位の選手に副賞としてぐるナビギフト券1万円分もしくは同等品を授与する。

(イ) 女子選手1位の選手に副賞としてぐるナビギフト券1万円分もしくは同等品を授与する。

(ウ) 新人選手1位の選手に副賞としてぐるナビギフト券1万円分もしくは同等品を授与する。

団体優勝 副賞



団体準優勝 副賞



14. 安全規定

(1) 海上にいる間、すべての競技者は個人用浮揚用具（ライフジャケット）を着用しなければならない。この項は第4章前文及びRRS40を変更している。

(2) レース委員会またはジュリーは、レース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命じることができる。この項はRRS3を変更している。ただし、救済の根拠とはならない。

11. 保険

(1) 本競技会の主催者（共同主催者）はJSAF総合賠償責任保険（旧J）ならびに民間損害保険会社取り扱いの賠償責任保険に加盟している。

(2) 本競技会の主催者（共同主催者）は大会参加選手全員の以下記載の内容の傷害保険に一括して加入している。

加入保険内容 死亡：1,000万円 入院：5,000円 通院：2,000円 賠償責任：1億円

12. サポートボート

(1) サポートボートは、レース初日の最初の予告信号60分以前に陸上本部にて登録受付をしなければならない。

(2) サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。

A) 事前に大会事務局に現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認し、その指示に従うこと。

- B) 平常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
- C) サポートボートは、事前にヨットモータボート保険（対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険）に加入していること。
- D) サポートボートは大会実行委員会よりサポート艇フラッグを受け取り掲揚しなければならない。

13. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4「レースすることの決定」を参照。主催団体は、大会の前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

14. 承諾事項、その他

- (1) テクノ293クラスルールは[https://www.sailing.org/tools/documents/T2932CR20210512-\[27305\].pdf](https://www.sailing.org/tools/documents/T2932CR20210512-[27305].pdf) を参照。
- (2) 協会登録、セールナンバー等はJWA ホームページ <https://jw-a.org/> を参照。
- (3) 天候コンディション等により中止となった場合でも、参加料の返還はしないものとする。
- (4) 当日、気象警報などが出た場合は中止とする。
- (5) 必ずスタッフの指示に従うこと。
- (6) 競技に参加するための道具は各自用意すること。
- (7) 自分の体力と当日の体調を確認し、各自の判断にて出場すること。
- (8) 浮力体を必ず各自用意しておくこと。
- (9) 参加申込に際しては、大会開催会場である大阪北港マリーナの利用規約を遵守承諾するものとする。また、個人情報の取り扱い、写真等の取り扱いについても上記利用規約記載の通りとし、参加者はそれを承諾する。
- (10) 選手の氏名、所属、順位等については、各種メディア等に掲載する機会があることを参加者は承諾する。
- (11) 大会期間中の選手に関する動画、スチール写真および撮影された映像、記録、フィルムまたはその製版の制作、使用および時々の展示について、無償で主催団体に独自の判断で使用する永久的な権利を自動的に与えるものとする
- (12) 近隣での無断駐車はしないこと。
- (13) ごみを投棄しないこと。

※新型コロナへの対応

15. COVID-19感染対策について

- (1) 本大会は、以下の項目が一つでも当てはまる場合、中止とする可能性がある。また、レースが1レースでも成立した後での中止は、予備日などの行使をせず、中止の決定をもって大会終了とする。
 - A) 大会期間中にCOVID-19と思われる症状を訴える選手が見つかった
 - B) 参加選手が国内のCOVID-19感染者の濃厚接触者であると発覚した
 - C) その他、大会の開催によってクラスターが発生し得る状況になった
- (2) 本大会期間中の選手の健康管理及び安全管理に基づく決定事項は、大会実行委員である一般社団法人日本海洋教育スポーツ振興協会が、JWA日本ウィンドサーフィン協会の感染防止対策指針<<https://jw-a.org/4735>>及びJSAF 作成のガイドライン「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に厳格に従いながら一般社団法人日本海洋教育スポーツ振興協会が全ての決定を行い、その責任を負う。また、本大会では陸上スタッフによって、感染対策の履行が正しく行われているか、また、諸問題が発生していないかが常に確認される。本公示に記載の内容に反していると陸上スタッフに判断された場合には、事項で説明されるペナルティを履行させる。
- (3) 本項で要求される内容全てを大会に出場する選手は遵守しなければならず、これに違反した選手あるいは大会運営の定めるペナルティを履行する。具体的には、大会の成績及び出場登録を抹消し、即刻帰宅を命じる場合がある。
- (4) 大会当日の感染防止策として、会場の数カ所にアルコール消毒液を設置する。また、更衣室やトイレでの3密防止のため、着替えなどは宿または自宅などで済ませた状態で会場に向かうことが望ましい。また、陸上では必ずマスクを着用すること。マスクを外して良いのは、出艇申告を済ませてからとし、レース後、帰着申告が終わったら速やかにマスクを着用すること。イベント終了後2週間以内にCOVID-19感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。